

科目名		母性看護学援助論Ⅲ(母性の家族発達)			
科目分類	専門分野Ⅱ	履修年次	3年次	履修時期	4月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員	実務経験	母性看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	母性看護における倫理的問題と母子関係から倫理観と家族の在り方を考え、家族発達の援助を理解する。				
学習目標	<p>母性看護を実践するために必要となるハイリスクな状況にある妊娠期・分娩期・産褥期の病態及び検査・治療について理解する。</p> <p>1. 家族形成期と家族の発達について現代社会の背景を捉え、理解する。</p> <p>2. 子どもの誕生に伴う家族の様々な変化や、家族を取り巻く環境について理解し、家族形成期の役割と家族の発達課題、および倫理的側面を捉えた看護の視点について学ぶ。</p> <p>3. 母性看護における看護過程、ウェルネス志向が理解でき、事例を基に周産期の看護計画が立案できる。</p>				
回	授業内容			授業方法	
1	1.家族とは 2.家族形成期の家族の理解 ①家族形成期と家族の発達 ②新たな役割と課題 ③生活の再構成 ④家族の構成と関係の変化 ⑤家族の社会的変化 ⑥ライフスタイルの形成			講義	
2	3.家族形成期の看護 ①システムとしての家族 ②家族形成期のアセスメントと援助 ③家族形成期の援助の実際 * 母性領域で起こりやすい家族の問題 ・家族形成期:事例を用いて考える			講義	
3	1.母性看護における看護過程 ①母性看護の特徴 ②マタニティサイクルにおける考え方 ③ウェルネス看護診断の考え方 ④ウェルネス看護診断の展開 2.看護過程(情報収集のポイント)			講義 個人ワーク	
4・5・6	3.看護過程のそれぞれの項目のポイント 4.看護過程:記録記載について 5.事例についてアセスメントして看護計画を立案 6.看護計画立案			講義 グループワーク	
7	7.看護計画発表 まとめ(講義)			発表	
8	試験				
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学① 母性看護学概論 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学② 母性看護学各論 医学書院				
参考文献	1. 新体系看護学全書 母性看護学②マタニティサイクルにおける母子の健康と看護 メヂカルフレンド社 2. ウェルネス看護診断に基づく母性看護過程 第3版 医歯薬出版				
成績評価の方法	グループワークへの取り組み状況 および筆記試験 100点にて評価				